

平成19年秋田県観光統計

(秋田県観光客入込・動態調査)

秋田県産業経済労働部

はじめに

人口減少や少子高齢化が進む秋田県においては、定住人口に加え交流人口を増加させるための取組が必要であり、観光を切り口とした交流の拡大が、活力ある地域づくりのための大きな役割を担っています。また、今年度は本県を会場に全国植樹祭やその関連イベントが行われており、この機会を活かして観光振興に取り組んでいく必要があります。

近年、いわゆる団塊の世代の退職により、この世代を中心にして、自然環境や健康等に関連した観光への関心が高まってきております。地域の観光素材を個別化・多様化する観光ニーズに合わせて磨き上げ、新たな観光資源・観光ルートの開発や効果的な誘客・宣伝活動に結びつけるなど魅力的な観光地としての自立を図っていくことが求められているといえます。そのため、本県の豊かな自然や食文化、伝統行事などの多彩な魅力を、首都圏等に積極的に情報発信するとともに、地域独自の取り組みを支援していくこととしております。

一方、韓国国際定期便等を利用して本県を訪れる外国人観光客は着実に増加してきております。そのため、外国人に優しい受入態勢づくりや、有効な宣伝媒体や手法を用いた情報発信が求められており、本県唯一の国際定期便である韓国便を堅持するとともに、外国語によるガイドブック作成や外国語研修会開催など、ホスピタリティの向上に取り組んでまいります。また、台湾などターゲットを絞った誘客対策を進め、国際観光の更なる振興を図ることとしております。

本調査は、市町村や関係機関の御協力により平成19年（1月～12月）に本県の観光地を訪れた観光客数と流動状況をまとめたものです。今後の観光振興の基礎資料として、観光関連業界をはじめ多くの方々に御活用いただきたいと存じます。

最後に、本調査の実施にあたり多大なる御協力をいただきました県内各市町村をはじめ関係の皆様に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き本県の観光振興に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年7月

秋田県産業経済労働部長

岩本孝一

○市町村合併に伴う市町村名表示について

秋田県では、平成16年11月の美郷町誕生を皮切りに市町村合併が進み、平成18年3月の八森町峰浜村の合併を最後に13市9町3村の枠組みが完成しました。

この「平成19年秋田県観光統計」では、平成20年7月現在の市町村名で記載しておりますが、表1-9、表1-10の市町村別観光客数の一部については、市町村単位で過去数年分の数値を比較するため平成17年1月時点での旧市町村名で表示しております。

合併市町村一覧表（平成20年7月現在）

	合併日	合併後の新市町名	合併前の関係市町村名
1	平成16年11月1日	美郷町（みさとちょう）	六郷町、千畑町、仙南村
2	平成17年1月11日	秋田市（あきたし）	秋田市、河辺町、雄和町
3	平成17年3月22日	由利本荘市（ゆりほんじょうし）	本荘市、矢島町、岩城町、由利町、西目町、鳥海町、東由利町、大内町
4	”	潟上市（かたがみし）	天王町、昭和町、飯田川町
5	”	大仙市（だいせんし）	大曲市、神岡町、西仙北町、中仙町、協和町、南外村、仙北町、太田町
6	”	北秋田市（きたあきたし）	鷹巣町、森吉町、阿仁町、合川町
7	”	湯沢市（ゆざわし）	湯沢市、稲川町、雄勝町、皆瀬村
8	”	男鹿市（おがし）	男鹿市、若美町
9	平成17年6月20日	大館市（おおだてし）	大館市、比内町、田代町
10	平成17年9月20日	仙北市（せんぼくし）	角館町、田沢湖町、西木村
11	平成17年10月1日	横手市（よこてし）	横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村
12	”	にかほ市（にかほし）	象潟町、仁賀保町、金浦町
13	平成18年3月20日	三種町（みたねちょう）	琴丘町、山本町、八竜町
14	平成18年3月21日	能代市（のしろし）	能代市、三ツ井町
15	平成18年3月27日	八峰町（はっぽうちょう）	八森町、峰浜村

目 次

I 観光客数調査

1 調査要領	1
2 調査結果	
(1) 概要	2
(2) 観光客数の推移	3
(3) 自然公園等観光客数	5
(4) 行祭事観光客数	6
(5) 施設観光客数	7
(6) 宿泊・日帰り別観光客数	8
(7) 県内・県外別観光客数	9
(8) 月別観光客数	10
(9) 市町村別観光客数	11
(10) 広域別観光客数	12

【資料】

表 2-1 自然公園等観光客数〔国立、国定、県立〕	13
表 2-2 その他主な公園等観光客数	14
表 2-3 主な行祭事別観光客数	16
表 2-4 主な施設別観光客数	20
表 2-5 温泉別利用者数	
(1) 温泉郷利用観光客数の推移	24
(2) 主な温泉施設別利用者数	25
表 2-6 海水浴場利用者数	28
表 2-7 スキー場利用者数	29
表 2-8 ゴルフ場利用者数	30
表 2-9 四半期別外国人宿泊者数	31
表 2-10 市町村別観光客数〔県内・県外別、宿泊・日帰り別〕	32
表 2-11 〃 〔月別〕	33
表 2-12 自動車専用道路各インターチェンジ別利用台数	
(1) 秋田自動車道	34
(2) 湯沢横手道路	34
(3) 日本海沿岸東北自動車道	34
(4) 東北縦貫自動車道	34
表 2-13 秋田空港乗降客数	35
表 2-14 大館能代〔あきた北〕空港乗降客数	35

II 観光実態調査

1 調査要領	
(1) 調査目的	3 6
(2) 調査方法	3 6
(3) 調査地区・調査期日・聞き取り件数	3 7
(4) 調査項目	3 8
2 調査結果	
(1) 有効サンプル数	3 8
(2) 男女別構成	3 8
(3) 年代別構成	3 8
(4) 現住所	3 9
(5) 旅行目的	4 1
(6) 訪問回数	4 3
(7) メンバー構成	4 4
(8) 利用交通機関	4 5
(9) 観光情報入手先	4 7
(10) 満足度	4 9
(11) 観光客流動ルート	
① 観光客流動数イメージ図(合計)	5 0
② " (冬: 2月調査)	5 1
③ " (春: 5月調査)	5 2
② " (夏: 8月調査)	5 3
② " (秋: 10月調査)	5 4
【資料】 秋田県観光実態調査票	5 5

III 全国観光統計基準への対応

1 全国観光統計基準の概要	
(1) 目的	5 7
(2) 調査地点の選定	5 7
(3) 観光地点の分類	5 7
(4) パラメータの設定	5 7
2 全国観光統計基準に準拠した場合の試算	
(1) 中分類別観光入込客延人数	5 8
(2) 観光客実人数試算のためのパラメータ	5 8
(3) 観光客実人数	5 9
(4) 観光消費額	5 9
【資料】 パラメータ設定資料	6 0
3 日本観光協会から示された統計単位による	
平成18年「秋田県観光統計」の試算	6 1